

ありす刈和野だより

A r i s u K a r i w a n o D a y o r i

「事業所紹介」

2019年4月。あと少して年号が、「平成」から「令和」に変わります。福祉エリアありす刈和野も開設から5年目に入り、日々新しい事に取り組んでいこうと考えております。

その1つとして、今年度の各事業所の紹介を行いたいと思います。

このホームページをご覧になって詳しい情報を、聞きたい・見たいと思われましたら是非1度福祉エリアありす刈和野に見学いらしてください。



施設長
高橋 仁

福祉エリアありす刈和野は、介護保険と障がい福祉のサービスを複合的に提供できる福祉の拠点施設として、刈和野地域へ根付いてきました。当施設の大きな特徴として、高齢者や障がい児・者など、年齢や制度の垣根を越えて横断的にサービスを提供できることが挙げられます。多岐に亘る事業や様々な職種などの枠に捉われない柔軟で積極的なサービスを提供していくため、職員の基本姿勢を次のように掲げました。

＜笑顔と礼節を忘れない＞常に爽やかな笑顔を心がけ、積極的に挨拶し感謝の気持ちを伝え礼節を重んじます。

＜相互尊重のコミュニケーション＞自ら主張するばかりでなく相手の意見も積極的に聴くことで互いに尊重し合いながら諸課題を解決していきます。

＜常に新しい発想を＞現状に満足することなく柔軟で新しい発想を大切に常に進化し続けるサービスを提供していきます。

間もなく来る令和の新時代。常に笑顔と活気に溢れ、誰もが自然とウキウキしてしまう、そんな施設を目指して職員一同精一杯頑張っていきます。今年度もよろしくお祈りします。

多機能事業所ありす刈和野(生活介護)事業所



サービス管理責任者
伊藤 洋子

当事業所では、利用される方々が自立した日常生活を継続できるように、理学療法士によるリハビリ、ゆっくり対応できる入浴、地域性を活かした「ちょっとそこまで」外出支援、季節毎の外出ドライブ、行事開催など多彩なプログラムを実施しています。皆様笑顔にあふれ充実した1日を過ごされるよう真心込めたサービス提供を心がけています。



グループホームありす刈和野 事業所



管理者
高橋 牧子

当事業所は認知症の方が家庭に近い環境で、その人らしい自立した生活が継続できるよう支援していく事業所です。現在2ユニット18名が生活しています。スタッフは認知症の方の抱える悩みや不安の理解に努め、日々の生活の中におけるリハビリで認知症状の進行が緩和できるような支援をしています。



ありす刈和野だより

A r i s u K a r i w a n o D a y o r i



ユアホームありす刈和野
事業所



サービス管理責任者
加藤 智子

当事業所は、障がい者の方が主に夜間や休日に入浴・排泄・食事の介護、その他の日常生活上の援助や相談を受けながら共同生活をしていく事業所です。館内は完全バリアフリーとなっており、車椅子の方も生活しやすい環境となっています。現在10名の方が生活しています。日中はそれぞれの個性や能力に応じて、就労継続支援や生活介護・一般企業など各事業所へ通われて過ごしています。



多機能事業所ありす刈和野
(就労継続支援A型)事業所



生活支援員
鎌田 智

当事業所は、一般企業では就労が難しい障がい者に対して、清掃作業や農作業等の就労の場を提供し、収入を得ながら一般就労に必要な知識や技術を学んでいくことを目的とする事業です。現在の訓練作業は、当法人で運営している施設の清掃作業、大仙市からの委託業務等、今後も業務拡大に向け、職員利用者一緒に頑張っていきたいと思えます。

ありすの街
ケアプランセンター 事業所



管理者 斎藤 恒子

地域に暮らす障がいのある方や高齢の方
そのご家族のための相談窓口です。
2つの事業所は同じ場所に設置されてお
り、障がい者と高齢者の相談窓口を1本
化することでワンストップサービスを提供
します。
福祉サービスの紹介やサービス事業者と
の調整、生活上の悩みなど様々な相談
に対応しています。
相談は無料です。
お気軽にご相談ください。

大仙障がい者
相談支援センターかしま 事業所



相談支援専門員 岡原 千美

